

ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」
Covid19感染症拡大防止対策について

2023.3月

厚生労働省安全衛生委員会が定めるチェックリストに基づき策定

■お客様に対する対策

(1) 感染防止のための基本的対策

項目	小項目	内容
感染防止の3つの基本	身体的距離の確保	スタッフの、お客様への身体的接触は必要最小限にする。
	マスク着用	ご自身および他者への感染リスクがある場合には、お申し込み時にご一報をいただく。基本的にご体験時はマスクを推奨する。
	手洗い	手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗うようトイレ内に掲示を行う。
健康状態の確認	毎日の検温	ご自宅で検温をしていただくよう事前をお願いするとともにご来場時に検温を行う。
	体調確認	ご来場時に体調（風邪症状や発熱の有無等）の確認を行い、体調がすぐれない場合はご体験をご遠慮いただく。

(2) 感染防止のための具体的対策

項目	小項目	内容
三密に対する基本的対策		コンシェルジュが声をかけ、お客様同士が密にならないようにする。そのほか、近距離での接触をとまなうサポートの要望があった場合で、サポートを行うことが望ましいと判断されたときは、原則断らず、またサポート等を行う際には、極力担当を決め、決められた人が終日対応に努める。
密閉空間		窓を1時間に2回程度、全開し密閉な状態を作らない。
人が密集する場所	受付	お客様受付を行う場所はアクリル板を入れる。
接触感染防止		プログラム内で接触が発生する場合は、入場前および室内での手洗いや消毒の案内を徹底する。不安な方には手袋を配布する。 スタッフが触れる物品、機器類はこまめに消毒を実施する。
清掃	トイレ	トイレのチェック係を決め、定期的に必ず消毒を行う。 トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示する。 ペーパータオルを設置する。
休憩	休憩スペース	待合スペースでの飲食をご遠慮いただくよう掲示をする。
廃棄物	ゴミ	ゴミは持ち帰っていただくよう掲示をする。

※なお、注意喚起や大切な情報を伝える際に掲示のみにすると、目が見えない人、見えにくい人が認識することが困難になるため、口頭で伝えるなど、状況に応じて適切に対応する。

(3) Covid19の陽性者や濃厚接触者が出た場合などの対応

項目	小項目	内容
陽性等者に対する対応	陽性者が出た場合	陽性であると判明した場合は、速やかに電話またはメール等により連絡してもらうことを事前に伝えておく。 体験をしたお客様から陽性者が判明した場合、事前に得ている個人情報に基づき同じ回で体験をされたお客様に連絡を行う。